

読売新聞・医療ルネサンス

## 「患者家族」プロジェクトについて

2014/12/13  
がん医療フォーラム2014  
読売新聞医療部  
吉田清久

## 読売新聞医療部は・・・

- 人員：部長以下22人
- 取対象分野：生殖医療、感染症、がん、生活習慣病、精神科医療、臓器移植、再生医療、難病など
- 医療部は、連載回数5963回（12を超える「医療ルネサンス」を掲載するために、取材班が結成されたことが出発点

## 読売新聞医療部のモットー 「難解な医療を分かりやすく」

- 医療者と患者・国民とのギャップを埋める架け橋になるような記事を



- 病気の最新治療法、医療制度、医療と心の問題などを、患者の具体的な事例をもとに分かりやすく読者に伝える

## 「患者家族」プロジェクトの背景

- 超高齢社会を迎え、がんも治療しながら長い予後を生きる“慢性期”の病気に
- がんを巡る状況の変化
- 核家族化で介護や看病にあたる家族の支える力が低下
- 負担感が増して深刻な抑うつ状態に陥ったり孤立したりしている家族が少なくない
- 「治す医療から治し支える医療へ」

→患者家族は「第二の患者」

- 身体的な負担、見通しが立たない不安

## 医療ルネサンス

- 1992年9月 連載開始(チーム取材)
- 1993年 「アップジョン医学記事賞」特別賞
- 1994年度 「日本新聞協会賞」受賞
- 1996年度 「菊池寛賞」受賞
- 1997年4月 医療情報室誕生
- 2000年4月 医療情報部へ組織改編
- 2007年 「ファイザー医学記事賞」優秀賞
- 2008年 「ファイザー医学記事賞」大賞
- 2011年1月17日 連載5000回
- 2012年9月 連載20年
- 2013年4月 医療部へ組織改編
- 2014年9月 「ファイザー医学記事賞」大賞

## なぜ「ルネサンス」？

「神中心の中世文化から人間中心の近代文化への転換の端緒をなした」(広辞苑)



臓器を診る医療から「人間」を診る医療へ



**医療界にルネサンスを！**

## 浮かび上がったテーマ

- 働き盛りの(30~50歳)の病
- 子どもへの告知
- 家族の苦悩
- ①見通しが立たない看病
- ②壊れた家族「きれい事でない本音」
- もろい介護力
- 妻が病んだら
- 広がる格差

家族や支える人の有無で治療に格差

## 今後の展開

- 患者家族の実態調査500人アンケート・体験例を分析・報道
- 医療ルネサンスで第2部「きしむ家族」を12月16日から連載(予定)
  - ・超高齢社会で看病や介護にあたる家族の悲鳴、家族関係のきしみの実情をレポート
  - ・少しでも楽になるためのヒント、メッセージ